

輸送量6%増、北米2ケタ増

■IATA統計・5月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年5月の貨物輸送量（貨物トンキロ=CTK）は前年同月比6.0%増となった（表①参照）。国際貨物に限ると、CTKは同6.5%増、供給量（有効貨物トンキロ=ACTK）は同2.8%増、貨物ロードファクターは同1.8ポイント増の52.4%だった。中東では戦争影響による落ち込みが続いたものの、北米、アジア太平洋、欧州、アフリカなどが堅調に推移し、全体の需要を押し上げた。

主要市場では、北米の航空会社が2ケタ増となり、CTKは10.5%増、ACTKは2.4%増だった。アジア太平洋はCTKが8.0%増、ACTKが5.1%増、欧州はCTKが6.7%増、ACTKが2.2%増と、いずれも堅調だった。一方、中東の航空会社は引き続き前年割れとなり、CTKは8.9%減、ACTKは9.2%減と、地域別で最も弱い実績だった。

主要レーン別の貨物輸送量成長率（CTKベース）を見ると、アジアー北米（市場シェア23.5%）が19.9%増と高い伸びを示し、4カ月連続の増加となった。欧州ーアジア（同21.5%）も10.0%増と39カ月連続で増加し、アジア関連レーンの堅調さが目立った。欧州ー北米（同0.4%）は0.4%増とプラス転換した。一方、中東関連レーンは引き続き落ち込み、欧州ー中東（同5.2%）は19.8%減、中東ーアジア（同7.4%）は16.5%減で、ともに3カ月連続のマイナスとなった。

IATAのウィリー・ウォルシュ事務総長は、5月の実績について、中東で戦争影響が続く一方、主要地域の需要が底堅く推移したと説明。そのうえで、貿易や製造業生産の拡大に加え、航空会社が需要変化に応じて運航を調整していることなどから、「年後半の航空貨物市場には慎重ながら楽観

表① IATA世界航空貨物実績									
		2026年5月実績(前年同月比)				2026年1～5月実績(前年同期比)			
(単位:%)		市場 シェア*	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント差)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント差)
総合(国際+国内)		100.0	6.0	1.9	1.8	46.3	4.1	1.5	1.1
アフリカ		2.1	13.3	1.3	5.0	46.9	12.7	1.1	4.8
アジア太平洋		35.8	8.0	5.1	1.3	46.7	9.0	6.1	1.2
欧州		21.4	6.7	2.2	2.3	53.9	5.8	4.0	0.9
南米		2.9	1.9	5.6	▲1.2	34.8	▲0.8	3.8	▲1.6
中東		13.2	▲8.9	▲9.2	0.2	46.5	▲12.7	▲12.9	0.1
北米		24.6	10.5	2.4	3.0	41.0	4.4	0.9	1.4
国際貨物		87.9	6.5	2.8	1.8	52.4	4.4	1.9	1.2
アフリカ		2.1	13.3	1.8	4.9	48.1	12.7	1.4	4.8
アジア太平洋		32.1	9.2	7.8	0.7	55.7	9.5	7.2	1.1
欧州		21.0	7.0	2.4	2.4	56.3	6.0	4.1	1.1
南米		2.5	3.2	5.9	▲1.0	39.3	0.4	3.6	▲1.3
中東		13.2	▲8.9	▲9.2	0.2	46.9	▲12.8	▲13.1	0.2
北米		17.1	12.9	4.5	3.7	49.2	5.3	2.4	1.4

*市場シェアは2025年のCTKベース
CTK=貨物トンキロ
ACTK=有効貨物トンキロ
貨物LF=貨物ロードファクター

注)地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績リポートおよび一部リポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

的な見方ができる」とした。

ただ、中東情勢の不確実性や高止まりする運航コストには警戒感も示した。イーロード上昇や貨物ロードファクターの改善が燃料費上昇分の回収を支えているとしつつ、「依然として厳

しい年であることに変わりはない」と述べ、堅調な需要と航空会社の対応力が市場を支えているとの見方を示した。

事業環境では、世界貿易や製造業生産が増加基調にあり、航空貨物需要を下支えした。ただ、新規輸出受注指数は49.6と景況判断の節目であ

表② 主要レーンの2026年5月貨物輸送量成長率
(CTKベース、市場規模順)

路線	需要伸び率(CTK)	備考	市場シェア
アジアー北米	19.9%	4カ月連続増	23.5%
欧州ーアジア	10.0%	39カ月連続増	21.5%
欧州ー北米	0.4%	プラス転換	13.5%
中東ーアジア	▲16.5%	3カ月連続減	7.4%
アジア域内	5.5%	31カ月連続増	7.3%
欧州ー中東	▲19.8%	3カ月連続減	5.2%
欧州域内	11.5%	4カ月連続増	1.9%
アフリカーアジア	14.1%	11カ月連続増	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKベース

る50を下回っており、需要の伸びは世界的な輸出拡大というより、一部の貿易フローに支えられた格好だ。5月のジェット燃料価格は前月比16.3%下落したが、前年同月比では93.5%高い水準にとどまった。

5月実績の詳細は表①、表②の通り。